

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第72期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	丸尾カルシウム株式会社
【英訳名】	Maruo Calcium Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 丸尾 治男
【本店の所在の場所】	兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
【電話番号】	078(942)2112(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 今井 一史
【最寄りの連絡場所】	兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
【電話番号】	078(942)2112(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 今井 一史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第71期 第2四半期 連結累計期間	第72期 第2四半期 連結累計期間	第71期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (百万円)	6,252	6,041	12,771
経常利益 (百万円)	354	217	650
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	231	163	404
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	333	424	455
純資産額 (百万円)	8,636	9,138	8,758
総資産額 (百万円)	14,314	15,443	14,683
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	103.92	72.46	180.53
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	98.22	68.73	170.91
自己資本比率 (%)	57.2	56.3	56.6
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	559	1,013	976
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	326	516	726
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	202	236	277
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	1,693	2,347	1,623

回次	第71期 第2四半期 連結会計期間	第72期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	62.63	32.89

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済については、米中貿易摩擦の長期化による影響を背景に減速傾向が強まっており、また米欧ともに景気下支えのための金融緩和政策を実施するなど不確実性が高まっている状況です。

日本経済については、雇用・所得環境の改善傾向が持続するなど内需が底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済、欧州経済の減速の影響などにより依然として先行き不透明な状況にあります。

このような経済情勢下、当社グループにおきましては、国内需要は、塗料向け、建築資材向けなどが堅調に推移しましたが、中国の景気減速により中国での商品販売が減少したことに加え、電子部品向け製品が減少したことにより、売上高につきましては60億41百万円（前年同期比2億11百万円、3.4%減）となりました。損益面につきましては、設備投資により償却負担が増加したことや動力費及び原燃料費の価格上昇の影響などにより営業利益は1億円（前年同期比1億69百万円、62.8%減）、経常利益は2億17百万円（前年同期比1億37百万円、38.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億63百万円（前年同期比68百万円、29.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億60百万円増加し154億43百万円となりました。これは主に現金及び預金が9億10百万円、有形固定資産が2億39百万円、投資有価証券が3億99百万円増加し、受取手形及び売掛金が7億35百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億80百万円増加し63億5百万円となりました。これは主に長期借入金が6億50百万円、未払金が83百万円、固定負債その他が57百万円増加し、短期借入金が3億42百万円、未払法人税等が50百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては前連結会計年度末に比べ3億80百万円増加し91億38百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ7億23百万円増加して23億47百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は10億13百万円（前年同期は5億59百万円の増加）で、これは主に税金等調整前四半期純利益2億14百万円、減価償却費3億43百万円、売上債権の減少7億30百万円等による資金の増加に対し、未払金の減少1億19百万円、たな卸資産の増加54百万円等による資金の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は5億16百万円（前年同期は3億26百万円の減少）で、これは主に有形固定資産の取得による支出3億97百万円、定期預金の預入による支出2億18百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は2億36百万円（前年同期は2億2百万円の減少）で、これは主に長期借入金の純増3億25百万円に対し、配当金の支払68百万円等の支出によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、1億29百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,355,200	2,355,200	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	2,355,200	2,355,200	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2019年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	2,355	-	876,552	-	440,674

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
中国礫業株式会社	岡山県新見市金谷41	249	10.97
山陽化学産業株式会社	兵庫県明石市本町1丁目1-24	114	5.02
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	東京都新宿区西新宿1丁目26-1	79	3.52
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	76	3.38
大同生命保険株式会社	大阪市西区江戸堀1丁目2-1	63	2.79
丸尾 次男	兵庫県明石市	60	2.65
日本ペイントホールディングス株式会社	大阪市北区大淀北2丁目1-2	59	2.60
丸尾 儀兵衛	兵庫県明石市	44	1.94
丸尾 直子	兵庫県明石市	42	1.87
丸尾 高子	兵庫県明石市	40	1.80
計	-	829	36.52

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 82,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,265,200	22,652	-
単元未満株式	普通株式 7,100	-	-
発行済株式総数	2,355,200	-	-
総株主の議決権	-	22,652	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
丸尾カルシウム株式会社	兵庫県明石市魚住町西岡 1455番地	82,900	-	82,900	3.52
計	-	82,900	-	82,900	3.52

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,782,171	2,693,082
受取手形及び売掛金	4,981,430	4,245,591
商品及び製品	436,311	438,563
仕掛品	94,403	106,000
原材料及び貯蔵品	297,601	336,697
その他	100,362	94,467
貸倒引当金	2,410	2,114
流動資産合計	7,689,870	7,912,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,303,441	1,375,524
機械装置及び運搬具(純額)	1,523,735	1,753,602
土地及び鉱山用土地	598,510	598,510
建設仮勘定	92,996	34,343
その他(純額)	71,117	67,327
有形固定資産合計	3,589,801	3,829,308
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,929,916	3,329,810
投資不動産(純額)	240,510	239,588
その他	197,748	99,481
貸倒引当金	3,365	3,365
投資その他の資産合計	3,364,810	3,665,515
固定資産合計	6,993,256	7,531,445
資産合計	14,683,126	15,443,734
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,078,602	2,096,434
短期借入金	572,841	229,896
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払金	645,262	728,708
未払法人税等	81,839	31,499
賞与引当金	180,410	168,630
役員賞与引当金	17,175	2,550
その他	163,392	129,064
流動負債合計	4,239,524	3,886,783
固定負債		
長期借入金	348,477	998,535
退職給付に係る負債	693,134	718,018
その他	643,951	701,942
固定負債合計	1,685,562	2,418,495
負債合計	5,925,086	6,305,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	876,552	876,552
資本剰余金	453,340	461,768
利益剰余金	5,484,205	5,580,404
自己株式	107,239	86,067
株主資本合計	6,706,858	6,832,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,588,959	1,862,671
為替換算調整勘定	12,415	6,717
その他の包括利益累計額合計	1,601,374	1,855,954
新株予約権	87,085	87,085
非支配株主持分	362,722	362,758
純資産合計	8,758,040	9,138,455
負債純資産合計	14,683,126	15,443,734

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	6,252,880	6,041,452
売上原価	5,012,753	4,922,012
売上総利益	1,240,126	1,119,439
販売費及び一般管理費	970,910	1,019,371
営業利益	269,215	100,068
営業外収益		
受取利息	1,247	1,432
受取配当金	32,466	33,196
受取保険金	-	51,554
不動産賃貸料	31,822	32,481
為替差益	16,415	-
その他	10,647	11,348
営業外収益合計	92,598	130,014
営業外費用		
支払利息	3,881	2,553
為替差損	-	5,543
その他	3,081	4,784
営業外費用合計	6,963	12,881
経常利益	354,850	217,201
特別利益		
固定資産売却益	257	1,235
特別利益合計	257	1,235
特別損失		
固定資産処分損	7,452	3,916
特別損失合計	7,452	3,916
税金等調整前四半期純利益	347,655	214,520
法人税、住民税及び事業税	90,808	25,492
法人税等調整額	9,953	13,739
法人税等合計	100,761	39,231
四半期純利益	246,894	175,288
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,083	11,493
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,810	163,795

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	246,894	175,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115,838	273,710
為替換算調整勘定	29,311	24,660
その他の包括利益合計	86,526	249,050
四半期包括利益	333,420	424,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324,830	418,375
非支配株主に係る四半期包括利益	8,590	5,963

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347,655	214,520
減価償却費	305,909	343,980
株式報酬費用	9,341	16,741
固定資産処分損益(は益)	7,452	3,916
有形固定資産売却損益(は益)	257	1,235
貸倒引当金の増減額(は減少)	70	295
賞与引当金の増減額(は減少)	19,500	11,780
役員賞与引当金の増減額(は減少)	11,465	14,625
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	21,982	24,884
受取利息及び受取配当金	33,713	34,629
支払利息	3,881	2,553
売上債権の増減額(は増加)	11,260	730,918
たな卸資産の増減額(は増加)	59,207	54,052
仕入債務の増減額(は減少)	44,845	18,577
未払金の増減額(は減少)	1,660	119,395
未払消費税等の増減額(は減少)	6,248	12,753
その他	71,735	14,456
小計	618,069	1,055,713
利息及び配当金の受取額	33,713	34,629
利息の支払額	4,023	2,709
法人税等の支払額	87,998	74,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	559,760	1,013,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	12	218,777
定期預金の払戻による収入	17,290	23,813
有形固定資産の取得による支出	327,994	397,371
有形固定資産の売却による収入	257	1,682
無形固定資産の取得による支出	1,950	-
投資有価証券の取得による支出	1,248	1,327
保険積立金の払戻による収入	-	93,679
その他	12,752	17,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	326,411	516,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	94,629	18,002
長期借入れによる収入	500,000	800,000
長期借入金の返済による支出	539,962	474,950
配当金の支払額	66,306	68,609
非支配株主への配当金の支払額	850	850
その他	872	600
財務活動によるキャッシュ・フロー	202,620	236,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,735	10,062
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	33,464	723,991
現金及び現金同等物の期首残高	1,659,676	1,623,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,693,141	2,347,750

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

連結会計年度末日満期手形

連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末日残高に含まれておりません。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	87,187千円	- 千円
支払手形	4,450	-

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
研究開発費	129,587千円	129,891千円
従業員給料・賞与・福利厚生費	214,309	210,222
賞与引当金繰入額	49,789	45,750
退職給付費用	7,261	6,255
役員報酬・役員賞与引当金繰入額・ 株式報酬費用	86,646	86,791
運賃	269,842	283,408

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	1,801,122千円	2,693,082千円
預入期間が3か月を超える定期預金	107,981	345,331
現金及び現金同等物	1,693,141	2,347,750

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	66,446	30.00	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	67,556	30.00	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

当社グループは、炭酸カルシウムの製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	103.92円	72.46円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	231,810	163,795
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	231,810	163,795
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,230	2,260
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	98.22円	68.73円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	129	122
(うち新株予約権(千株))	(129)	(122)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月7日

丸尾カルシウム株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森内 茂之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 土居 一彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている丸尾カルシウム株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、丸尾カルシウム株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。